

# 名古屋

## モデルルームの掃除も徹底

首都圏と愛知県で新築マンションの販売を手掛けるオンズコンフィアンスは、2011年5月に名古屋支店(名古屋市中区)を開設した。

同支店の責任者である川本秀峰さんは06年の入社。首都圏で約30棟の販売に携わった後、昨年9月に着任した。現在は「ヴェルディーク」社(同市名東区)、「ヴェルデ



オンズコンフィアンス名古屋支店次長

**川本 秀峰さん**

(かわもと・ひでみね)



「常に誠実な対応を心掛けている」と話す川本さん

イク尾張瀬戸(瀬戸市)など、愛知県内で3棟のマンション販売を行っている。新しい土地に赴任したことも「誠実で再認識したことは」とも話している。愛知県と、マンション購入まじめな接客の重要性だ。

者が多い首都圏とでは顧客のモデルルームの来場者は、特徴が異なることもある。「親の意見もふまえて購入を検討する人や、モデルルーム掃除ひとつでも、決して手を抜かない」ときっぱり。また、常に誠実な対応を行うことが、同社が展開する「ヴェルディーク」ブランドの認知度向上につながるかと考えている。

休日の楽しみは、生後8カ月となる息子を連れて夫婦で近所のショッピングセンターに買い物へ行くこと。今後の目標は、名古屋に知り合いを増やすこと。「息子に『これがお父さんの仕事だ』と胸を張って言えるような仕事をしたい」と力を込める。

## カケン 回数券を特価販売

### 全6店で一斉実施

スーパー銭湯 増税控え顧客優遇



回数券をまとめて購入すると、1回あたり400円前後で利用できる

スーパー銭湯「喜多の湯」を運営するカケン(本社名古屋市中区大杉、石原彰久社長、電話052-931-9231)は3月、全店一斉に入浴回数券を特別価格で販売する。1回あたり通常に比べて3〜4割安い400円前後で利用できる。4月の消費税増税を控えた顧客サービスの一環。(山田悠)

同社は愛知、岐阜、静岡の3県で「喜多の湯」を6店展開している。今回のイベントは3月下旬までに、1週間以内の期間で実施する。



愛知と岐阜、静岡の3県で6店を展開している(名古屋市中川区の「山王温泉 喜多の湯」)

回数券は1冊10枚つづり。価格は店舗によって異なるが、過去には、一般平日価格650円の場合、5500円(1回あたり550円)で販売。5冊では2万2500円(同4500円)だった。回数券は土・日曜、祝日も利用できる。従来、同様のイベントは、



石原彰久社長

武田中部大 教授が講演  
東海住宅産業協会 3月3日午後2時から、名古屋市中村区名

## 地道な作業を世界が評価



アジアの水河分布図を作った名古屋大特任助教の坂井亜規子さん

温暖化で縮小が指摘されるアジアの水河が、これまで考えられていたより約3割小さいことを、3年かけて作った分布図で突き止めた。米国の学会で発表すると、各国の研究者に公開を求められ「地道な手作業が評価された」と感慨深げだ。

高校時代から物理に興味があり、北海道大理学部へ進んだ。「でも結局、よく分からなかった」。気象を学んでいた友人の話で水河に関心を持ち、大学3年の時、ヒマラヤ山脈の水河を訪れるツアーに1人で参加した。高山病になって引き返したが、「神秘的」と感じて北大低温科学研究所へ。ヒマラヤの標高4千メートルまで登って気温や降水量、水河の融解量のデータを収集し、2011年に「高精度水河台帳プロジェクト」(GAMDA)を開

## アジア水河分布図作成

名古屋大特任助教 坂井亜規子さん

を開始。「略称が人気アニメ『機動戦士ガンダム』になるように名付けました」と笑う。朝から夕方まで、パソコンの画面に映る260枚以上の衛星画像や地表の温度、等高線を表した地図に黙々と目を凝らす毎日。調査対象が広大で「本場に完成させられるのか」と天を仰いだことも。研究員や大学院生の協力を得て、岩に覆われた水河や積雪を見極め、輪郭を一つずつ記していった。

8歳と5歳の子どもの育児で忙しい。最近は観測現場に出ることが少ない。「分布図ができて、水河を手に入れた気分になりました」。茨城県出身、43歳。

株S-point 不動産賃貸・管理・売買  
お部屋探し CAFE

# ヘヤギメ!

TEL 052-433-3131

「4月に設立20周年を迎える。それまでには『メーカーになる』スローガンのもと取ってきた」と話すのは、フク社長の伊木宏行さん。橋の長寿命化に貢献する排水設備の開発に力を入れ、3億円の売り上げを掲げた。

同社の設立は1947年。従来、設備工事が主力だったが、現在は銭湯部門の売上高が工事部門を上回っている。

愛知県自動車整備振興会(本部名古屋)は3月、定期的な自動車の部品交換や車両点検の重要性を啓発するサイト「TCSシステム」の運用を本格的に開始する。会員の整備工場が、車両に搭載されるコンピューターシステムの診断を行うこともPRする。同サイトは、オープン周年記念など、主に個店単位で実施してきた。販売時期には女性客を中心に購入が集中する。石原社長は「お客さまへのサービスの一環として実施する」と話している。

愛知県自動車整備振興会(本部名古屋)は3月、定期的な自動車の部品交換や車両点検の重要性を啓発するサイト「TCSシステム」の運用を本格的に開始する。会員の整備工場が、車両に搭載されるコンピューターシステムの診断を行うこともPRする。同サイトは、オープン周年記念など、主に個店単位で実施してきた。販売時期には女性客を中心に購入が集中する。石原社長は「お客さまへのサービスの一環として実施する」と話している。

## 点検啓発サイト運用

県自動車整備振興会が来月から  
部品交換時期など解説